

## 令和元年度 2学期始業式（全日制） 校長式辞

みなさん、おはようございます。

今日の私の話は、「備える」という言葉をキーワードにします。

昨日9月1日は、「防災の日」でした。今から96年前、1923年9月1日に発生した関東大震災、東京が火災で焼け野原となり、10万5,000人余りが、死亡あるいは行方不明となった、この震災を忘れないために設けられた日です。“天災は忘れた頃にやってくる”物理学者であり防災学者でもあった寺田寅彦が残した言葉ですが、この言葉をしっかりと受け止めなければいけない災害が、その後も全国で発生しています。

先週、九州北部を襲った豪雨によって、冠水した地域の様子がテレビで報道されていました。佐賀県では、JR佐賀駅が水没、川が氾濫して孤立している病院、鉄工所からの油も流れ出し、臭いもひどいという被害状況を見ると、心が痛むばかりです。

この地域では、30年前にも今回と同じく豪雨によって冠水し、鉄工所から油が流れ出したという被害があったそうです。住民の「またか!」「備えていたはずなのに…」という、やるせない声も、もっともだと思いました。

古知野高校周辺の道路も、激しい雨が降ると冠水します。江南市が対策を講じようとしていますが、しばらくは、状況が変わりません。

9月は、秋雨前線や線状降水帯が発生したり、台風が来たりして大雨になることが予測できます。“備えあれば憂いなし”みなさんも、登下校時には十分注意してください。

話は変わりますが、先日、ある企業の社長の講演を聞く機会がありました。その会社が求めている人材は、次の5つのような人だそうです。

- ① しっかり挨拶できる人
- ② 笑顔で対応できる人
- ③ アドバイスを素直に聞ける人
- ④ 前向きで一生懸命な人
- ⑤ チャレンジしようとする人 ということでした。

この話を聞いて、私は「古知野高校の生徒は、ほとんど、あてはまる!」と思いました。

これから就職試験を受ける3年生、あなたたちは、古知野高校でしっかり「人としての基礎」を備えてきました。だから、大丈夫です。しっかりと挨拶をして、古知野高校で学んだこと、学校行事や部活動に一生懸命取り組んだことを、笑顔でアピールしてください。大学・短大、専門学校の入学試験も始まります。

「GO GO FORWARD!」「行け 行け 前へ!」 進路実現に向けて、前向きな気持ちを持って、果敢にチャレンジしてください。

また、部活動では、この夏休みにあった大会などで、活動の一線から退いた3年生がいます。先ほど、表彰した生徒をはじめ、よく頑張りました。まだ、最後の大会に向けて頑張っている3年生、あとを託された2年生・1年生、これから始まる新人戦などに向けて、しっかり備えてください。

最後に、10月には、私にとって初めての学校祭があります。これから本格的な準備となりますが、一人ひとりがそれぞれの持ち味を活かして、楽しいイベントにしましょう。

それでは、2学期も、様々なことに備えて、素晴らしい、青春の1ページを描けることを期待して、2学期始業式の式辞とします。